

豊野地区住民自治協議会だより

第22号

平成25年10月1日 発行者 豊野地区住民自治協議会
事務局(豊野支所内) TEL 257-3131 FAX 257-4776 メール toyono@valley.ne.jp

<安心して住民活動にご参加を>

自治会活動保険について

豊野地区住民自治協議会では、住民の皆さんに安心して活動を行っていただくために、自治会活動保険に加入しています。この保険は、次の3つの補償内容となっています。

1 傷害事故

住民の皆さんが自治会活動に従事中・参加中に、けがまたは亡くなった場合
(事故例) 運動会で競技中に転倒しけがをした など

【保険金額】 死亡、後遺障害上限 300 万円・入院 1 日 2,000 円・通院 1 日 2,000 円

2 賠償責任

自治会行事運営中に、自治会またはその住民が他人にけがをさせたり、他人の財物を壊したりし、法律上の賠償責任を被った場合

(事故例) テントややぐらが倒れて人がけがをした・スポーツ大会で競技中窓ガラスを割った など

【保険金額】 上限 1 億円

3 傷害見舞

自治会活動に参加を依頼した方が事故でけが等をした場合

(事故例) 招待客が運動会に参加中に転んでけがをした・招待した芸人が舞台から転落してけがをした など

【保険金額】 上限 10 万円 (見舞金)

※ 上記1の傷害保険は、治療にかかった費用や、ケガなどによって生じた損害(休業損害等)等を保障するものではありません。万一、ケガをされた場合は、健康保険を使用し、自費で治療して頂くこととなります。そのうえで上記保険金をお支払いすることとなります。

【万一ケガなどされた場合には】

- ① 自治会活動でケガなどされた場合は、主催者を通じ、事務局へご連絡下さい。
- ② その際、ケガ等の程度、行事名、ケガ等された日時・場所等をお知らせください。
- ③ 連絡先 豊野地区住民自治協議会 事務局(高木・納谷・山岸)

TEL 257-3131 FAX 257-4776 (豊野支所内)
メール toyono@valley.ne.jp

部会活動の紹介

<青少年育成部会> 夏休み夜間パトロールを実施しました



青少年育成部会では、8月8日（木）夜間パトロールを行いました。

青少年育成部会役員10名が参加され、夜8時から約1時間、東部地区と西部地区の2班に分かれて巡回しました。

巡回箇所は、東部地区5箇所（セブンイレブン豊野蟹沢店・ヤマザキショップ豊野店・JR信濃浅野駅・りんごの丘公園・有害販売機設置場所）西部地区5箇所（セブンイレブン豊野中央店・同長野アップルライン店・りんごの湯・サークルK豊野アップルライン店・JR豊野駅）計10箇所。

いつも何気なく暮らしている街も、巡回パトロールという立場で店舗や駅に立ち入るといふ、日常とは異なる体験に少し戸惑い、緊張しながら巡回しました。そこでいくつかの店舗の方にお聞きしたところ、「最近、夜間は店舗周辺で遊ぶ子供たちの姿をだいぶ見かけなくなり、特に目立った問題点はない」との事でした。一同安心はしたものの・・・では、子供たちはどこへ行ったのでしょうか？

7月5日（金）須坂メセナホールで行われた、県青少年補導活動推進大会の事例発表では、高校生のスマートフォン所持率が約70%となり外出せず、おそらく家でスマホを使い楽しんでいるのではないかとというのが、今どきの子供事情・・・との報告がありました。

非行少年の総数は減少傾向にありますが、青少年犯罪の低年齢化・いじめ・暴力等は深刻な状態とされています。地域の大人たちが、これからも子供たちを「見守っているよ！」というメッセージを、巡回パトロールを通じて発信していくことが重要だと思いました。



<地域振興部会> 豊野駅公園愛護会へ感謝状



地域振興部会に所属し、JR豊野駅周辺の公園を手入れしている、豊野駅南公園愛護会と豊野駅北公園・北ロータリー愛護会に対し、日ごろ熱心に駅周辺整備に取り組んでいることに対し、JR豊野駅から感謝状が贈られました。

7月23日JR豊野駅長室に、南公園 黒岩会長と北公園 倉石会長が訪れ、柳澤駅長から感謝状が手渡されました。

柳澤駅長は「整備して頂いている場所は、駅の構内ではないものの、駅と一体となっている場所であり、豊野駅のイメージ向上に一役も二役も貢献して頂いている。」と感謝状贈呈の理由を述べました。

豊野駅公園は年2回植え替えを行い、季節の花を咲かせています。皆さんも機会がありましたら、一度豊野駅周辺を訪れてみてください。

<女性部会> 鬼無里で「乾燥野菜の作り方・調理法」を学んできました

女性部会員13名は、8月21日に鬼無里で開催された長野市女性ネットワーク主催の研修会に参加し、乾燥野菜作りを学びました。

講師は84歳になるという小林貞美さん。

「大事なことやコツはその都度しゃべるからよく聞いててな。」と言われ、手は野菜の皮をむいたり、切ったり、並べたりしながら耳は講師に集中。「野菜は同じ大きさに。干すには波トタン。おてんとうさんが出る前にひっくり返せば貼り付かない。カボチャは干して蒸して銚色に仕上がれば完璧。」など、経験に基づく貴重な情報を得ました。

講習の後の昼食は、乾燥野菜を使った懐かしい味を「箱膳」でいただき、更に竹内栄養士さんから「食生活の見直しで健康アップ」のお話も聞きました。

鬼無里への往復車中でも、会員同士で漬物やら煮物やらの情報交換で盛り上がり、やる気满满となりました。

店へ行けば何でも手に入り、インターネットでどんな情報も得られるこの頃ですが、面倒くさがらずに食や人を大事にしたいと再認識した一日でした。



採れたての野菜は乾燥しやすいように切ります。「乾燥機」は波トタン。



カボチャは少々コツがいります



乾燥野菜を使った料理実習

(女性部会では、機会を見て乾燥野菜づくりの講習会を開催する予定です。)

復活！ 門 灯 籠 南郷神社（南郷区）

南郷区の南郷神社の例祭で、巨大な門灯籠が復活しました。幅5m高さ2m奥行き1.2mの巨大な灯籠を高さ5mの杉丸太2本で支えます。釘を使わず全て組み上げる構造です。この門灯籠は明治時代に造られ、例祭のたびに建てられてきました。

戦後は不定期に建てられてきており、昭和22年と29年に建てた記録があります。その後平成4年までは空白期間でした。

平成5年と9年に建てられたのち、平成25年に16年ぶりの復活となりました。今年は伝統ある門灯籠をよみがえらせようと地域総ぐるみで取り組んできました。3月に準備委員会を発足させ、灯籠の点検、運営費用の捻出等苦労が絶えなかったそうです。

8月21日の灯籠組み立て準備作業を皮切りに、9月17日の「灯籠返し」まで5回の作業には延べ120人以上の参加がありました。中には会社を休んで参加する人も。地域の連帯感が一層深まったようです。

門灯籠には『敬神愛郷』『萬家豊栄』と書かれ、人々の思いが伝わってきます。今後に向け、後継者の育成など、いろいろ乗り越えなければならないことはあるかと思いますが、地域の宝として後世に受け継いでいって欲しいと感じました。



(祭りを伝える信濃毎日新聞の記事 9月17日)



赤い羽根共同募金

結核肺がん予防募金

ご協力をお願い



赤い羽根共同募金は、昨年度県内では2,600を超える福祉事業に配分され、地域の福祉の向上に使われています。また、結核・肺がん予防募金運動は、世界中から結核や肺がん、その他の胸の病気をなくそうと全国的に展開している運動です。

豊野地区住民自治協議会では本年度も下記により募金運動を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

募集期間 平成25年10月1日～10月31日

募集方法 各組班長さん(伍長さん)がご協力をお願いに上がります。(組によっては、組費の中から一括ご寄付頂くところもあります。)

※募金は強制ではありません。ご協力頂ける範囲で皆さまのお気持ちをお寄せ下さい。